

東 片 飛脚便 第5便

中仙道

向丘一丁目中町会ニュース 平成16年3月25日発行 総務部会

総会を親睦を深める懇談の場

懇話のない意見・ご要望をお寄せください

会長 中島 幸夫

早や、年度末を迎えました。今年度も町会活動が様々な分野で着実に前進できましたことをご報告いたします。もとより、そつした前進は役員をはじめ班長の方々のご尽力と町会員皆様のご理解ご協力のお陰によるものであり、心から厚くお礼申し上げます。

そつしたなか、五月上旬の予定で通常総会を開催させていただくこととし、目下、そのための諸準備を進めています。

申しあげるまでもなく総会は新年度町会活動のスタート点にあたる大切な機会ですので、ぜひとも事前に町会活動についてのご遠慮ないご意見・ご要望等をお近くの役員なり班長宛にお寄せくださいますようお願いいたします。とともに、総会当日は万障お繰り合わせいただきます是非ともご出席くださいますようお願いいたします。今回総会は、これまで

の堅苦しい雰囲気や単なるセレモニーに終わる状況をなんとか払拭し、会員皆様方の間の親睦交流に役立てていただけるよううにしたいと創意・工夫をしておりますので、どうぞお気軽にお運びくださり、懇親・懇談の機会にしていただきたいと思います。重ねてお願いいたします。

行事計画

親子料理教室(餃子をつくって食べよう会) 三月二十七日(土) 午後二時～4時半 誠之小学校 青少年部

祭礼懇談会 三月二十八日(日) 午後四時～六時半アルル館 祭事部

春の交通安全運動 四月六日(火)～十五日(木) 本富士交通安全協会

根津神社つじ祭り 開園式 四月九日(金) 午前十時～ なおつじ祭りは五月五日まで

根津神社つじ祭り

開園式 四月九日(金)

午前十時～ なおつじ祭りは五月五日まで

じ祭りは五月五日まで

根津神社稚児行列(五年毎の行事) 三丁七歳児対象 四月二十五日

(日) 根津小体育館・午後一時半集合(一時半出発) 祈願祭 祭事部

根津神社つじ祭り 酒茶屋手伝い 四月二十九日(木・祝日) 婦人部

中町会第二十九回定例総会 五月上旬 中町会

もしもの時に

万一の時に備え、次の不審者情報ホットラインを覚えておいてください。

090-8874-8859

本富士警察署では“チヨット気になるけれど、110番をかけるのは気が引けてしまう”といった時、独自に不審者情報

を専門に受け付けるホットラインを開設しました。

以下のような時に活用することを覚えておいてください。

住民ではないのにマンション内をウロウロ歩き

回ったり、ドアノブをいじったりしている時

路上や駐車場の車の中をのぞきこんだり、ドアの施錠状況をさぐっている時

自動販売機の前に車を止めて見えないようにして何かしている時

あとを追いかけられている

つけられている時、その他、貴方の直感で何かおかしいと気づいたり、感じた時

事務費(諸負担金) 支出状況

向丘地区対策協議会新年会費(地区対三名分) 九〇〇〇円 二月一日

災害連絡・町連青年・婦人新年会費(委員三名分) 九〇〇〇円 二月十三日

清掃施設見学会費(婦人部二名分) 六〇〇〇円 二月十九日

文京区町連・競輪反対協力金 三〇〇〇円 二月十九日

区報配布係り手数料 六〇〇〇円 二月十九日

町会ニュース「飛脚便」への

ご意見・ご感想・ご寄稿を

お読みいただいていますように、この『飛脚便』は町会と皆さんとの間をつなぐ血管の役割を果たそうと、隔月に一回発行してきています。毎号、ご報告やお知らせ関連の記事がたくさんあるため、皆様には『官報』のような味も素っ気もないものに映っているのではないだろうかと思いつつながら、ついつい時間切れに迫られて発行してきています。

この『飛脚便』をもっと面白く、次の号が待たれるものしていくために、ぜひ皆さんのご意見・ご感想をお寄せください。また、お気軽に原稿をお寄せください。こんな町会であって欲しい、こんなことをやって欲しい、こんなことを趣味にしている、最近こんなことをやっている、中町会のこういう歴史知ってる?こんな集まりをやっているのぜひどうぞご参加ください。等々、色々あるのでは。テーマや長い短いは、何でもよいと思います。お忙しい毎日ですが、よろしく願いたします。



行事報告

部長会 三月十三日

(土)午後七時半～九時四十五分。向丘地域活動センターに於いて十六年度の行事予定と予算をテーマに実施した。各部からの来年度計画とそれに伴う予算概算をめぐって協議が行われ、四月開催の役員会において正式に決定していくこととした。中島会長以下十一名の担当部長、副部長が出席した。

第一回四町連合祭礼会

議 三月十六日(火)午後七時から向丘地域センターに於いて下町会当番町会、中町会、上町会、森川町会の四町会の祭礼担当者が集い、今秋実施される連合祭礼の基本方針等について協議した。

中町会からは柴田代表(代理・奥村)、大口が出席、他に三名を後日選任することとした。

新入学児童お祝い

三月二十日(土)・春分の日

根津神社において実施

班長の交代に当たって

十五年度の班長さん大変ご苦労様でした。町会費の集金をはじめ各種の連絡、回覧等々、班長皆様の「縁の下の力持ち」的なご尽力によって町会の実際的な仕事を円滑に進めることができました。厚くお礼を申し上げます。

当町会では、一年ごとに輪番制で班長が交代することになっていきます。この三月末をもって次の班長にバトンタッチしていただくと、是非、今回のご経験を契機に、いろいろお気持ちになられた点等についてご指摘ください。また、町会活動のあり方についてご意見・ご要望をお寄せいただければ誠に幸甚に存じます。どうぞ今後とも町会活動に対しご理解とご協力がいただけますように重ねてお願い申し上げます。

なお、新年度以降の班長は、次回役員会での正式決定を待って交替していただくことになっていきます。

中町会点描

町会御輿の故郷と華麗な歴史

根津神社に神輿庫新築が決定したところで、今の神輿が中町会神輿となる前の華やかな経歴についてご紹介いたします。

町会神輿は、もと本郷三丁目交番手前の桜木神社所有の御神輿でしたが、事情により昭和42年5月に根津祭友会最高顧問・菊見玉造氏が湯島のとび職の紹介で購入し修復して根津祭友会に寄贈されたものです。祭友会のような神輿同好会が自前の神輿を所有するのは東京では最初でした。それ以来第1回大東京祭、銀座祭、日本の祭り、大島椿祭り、横浜祭典などに参加し、また、アメリカ(リトル東京)、ブラジル、ハワイ、パリ祭など数々の海外親善神輿渡行を行い貢献しました。

その後、昭和54年9月24日に当町会が譲り受け、現在に至っております(経緯・詳細は4号に掲載)。神輿購入にあたっては、故水上会長、同山口副会長、その他世話人の方々が多くの難題を乗り越え、町会有志皆様のご寄付で賄われました。この度の神輿庫新築費用については、町会皆様に根津神社遷宮300年記念事業費奉賛金の協力がなされている最中ですので、町会費の一部を積み立て神輿庫の費用とさせていただきます計画です。

【寄稿のページ】

「酒楽一肴」 向日庵

絵を描いたり、石を彫ったり一人で作業している男にとつては、大切な社会の接点の一つが酒場。毎晩、どこかのカウンターの前に座っている。今の人は老若男女何を考えているのか、諸々の情報を得る貴重な場でもあり、人間観察にも格好の場でもある。己を鍛えるのにも相当役立つと思っている。酒そのものが目的ではなく、酒場が集まる人たちと取り留めない話をするのが本来なので、まさに酒場は社会の縮図みたいなもの。人の話は聞くだけでも刺激になる。

そんな訳で、四十数年も夜の巷をさ迷いつづけている。新宿、新橋、銀座、飯田橋、神田、渋谷等々。まるで誘蛾灯に群がる虫だ。この虫も、屢、曆をめぐり忘れて久々に顔を出す店もある。そんな時「病気でもしたの・・・」。もっと口の悪い女将にかかっちゃ「死んじゃったんじゃないかと・・・」。「バツカヤロこっちこそ、店ソブレてねえかと恐々来たんだよ」と、こんな具合でご挨拶。だから梯子しないと殺されちゃう。

お日様が見えなくなったらご出勤です。今日は今一調子がのらないという日もあるけど、家内にはいつも晩になると出掛けるもんだと思わせておかないといけないもんだから、多少億劫でも先ずは出る。一日の締めくくりに。朝から寡黙に自分と向き合っているんで、せめて夜は己を解放してやりたい。身勝手な言い訳だ。酒場は命の洗濯機。垢を削ぎ、時として澱みそうなる力を攪き回してくれる。あちこち攪き回され、あちこちぶつかり合う。酒場にはこの小気味いい「衝突」が、お品がきよのつてない肴になる。この「衝突」を避けてたら忽ち命の力は萎えてしまふ。冬の或る日出くわした「衝突」の一場面は・・・。

(以下、次号に続く)